

あなたの暮らしのそばに

広報みはら

この地にいつまでも、ヒョウモンモドキ

特集

国内で唯一の生息地 三原市・世羅町共同企画



- 市政フラッシュ……………10
- 隣接校の選択制度……………11
- 市民体育大会ほか……………15
- 生涯学習推進月間のイベント……………16
- その他のイベント情報……………20

10

平成24(2012)年
第91号

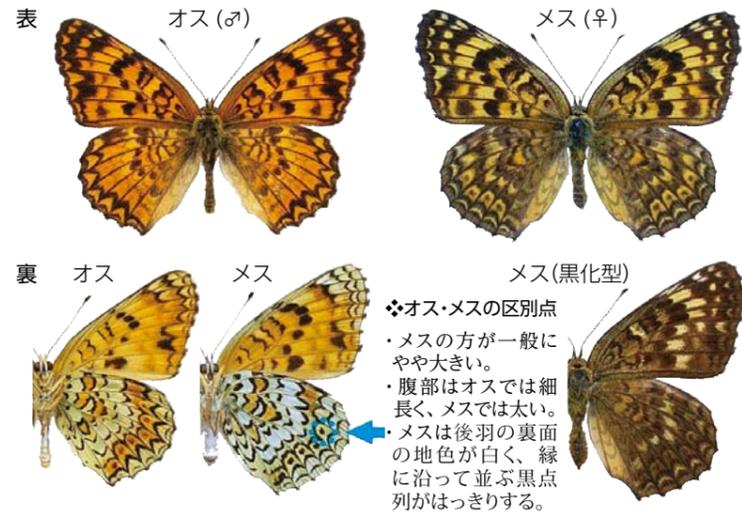
ともに生きてきた。 そして、これからも

里山や生物多様性、近年、こうした言葉をよく耳にするようになりました。人にさまざまな恩恵を与えてくれる自然環境。私たちは身近な自然を大切にしていける必要があります。「ヒョウモンモドキ」というチョウを知っていますか？日本でも、最も絶滅の恐れのあるこのチョウが、国内で三原市と世羅町にだけ生き残っています。このチョウが、いつまでも生き続けられるようにとの思いを込めて、三原市と世羅町の共同でヒョウモンモドキの特集を企画しました。



第1編 ヒョウモンモドキってどんなチョウ？

ヒョウモンモドキは、モンシロチョウよりやや大きく、羽を広げた大きさが5cmほどで、明るいだいたい色のヒョウ柄模様のチョウです。湿った草原(湿地)に生えるキセルアザミやタムラソウを幼虫が食べ、成虫はノアザミなどの蜜を吸います。成虫の多くは、湿地やその周囲をゆるやかに飛翔し、ノアザミなどの花にとまっています。



月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
卵												
幼虫												
サナギ												
成虫												

▲ヒョウモンモドキの生活史



第2編 ヒョウモンモドキの一生

インタビュー

ふるさとへ帰り保護活動



朝野隆治さん
(久井町)

約3年半前、兵庫県からふるさとである久井町へ帰ってきました。帰ってきてから、自分の所有地にヒョウモンモドキが以前生息していたことを知りました。保護の会の会員となり、生息地を再生するため、アザミを植えたり、草刈りをしたりしています。ヒョウモンモドキをはじめ、多様な生物がいなくなっていくのは寂しいことです。里山を守っていきたくと思います。



▲草刈りのようす

「どんな形で表現すればよいのか分からないが、楽しさや魅力を多くの人たちに感じてもらいたい」と語るのは、同会会長の井藤文男さん。額に汗して草を刈ることもまた楽しい、と笑顔で話します。保護活動のポイントは、「農業の基本に返ること」と教えてくれました。今後は、今年3月に設立したヒョウモンモドキ保全地域協議会の賛同団体として保護活動を行なっていきます。苦勞しながらも活動を続け、ヒョウモンモドキの保護につながると考えればいろいろなことにチャレンジする柔軟な取り組みが、ヒョウモンモドキの生息を大きく支えています。

事務局の皆さん左から、井藤会長、猪谷さん、須内さん、桜井さん、岩見さん
ヒョウモンモドキ保護の会事務局
須内さん
☎0847・33・0931



第5編

ヒョウモンモドキを守れ!

保護活動の先駆け

1990年代に急激に減少したヒョウモンモドキに対し、いち早く保護活動を展開したのが、平成13年6月に設立されたヒョウモンモドキ保護の会です。

県外からも活動に参加

活動内容は大きく4つに分けられます。①調査研究②生息地の維持・管理③観察会・勉強会④広報活動です。現在会員は約90人。会員の中には県外の人も含まれています。例年、春と

チャレンジし続ける

秋に草刈りを実施し、産卵場所であり幼虫の餌となるキセルアザミの繁殖地を確保し、チョウの吸蜜花であるノアザミを植栽するなど、ヒョウモンモドキの生息地を維持・管理しています。また、里山の貴重さや心地よさを感じてほしいと、毎年、自然観察会を開催しています。今年も6月に開催し、家族連れなどが、優雅に舞うヒョウモンモドキの姿や、その他の湿地に住む希少な生き物を目にしました。



第3編

絶滅の危機へ

ヒョウモンモドキは、かつて、福島県から山口県までの14の県に分布していました。その分布は、大きく分けて長野県や山梨県を中心とした本州の中部と、広島県や岡山県を中心とした西日本の2つのエリアでした。しかし、本州中部では1990年代前半の記録を最後に、西日本では広島県を除いて、1999年の記録を最後に絶滅しました。



広島県内における生息状況
※合併前の市町村名で表記しているところがあります。

各県における生息状況
■：絶滅地
■：現存地



国内希少野生動植物種とは

絶滅のおそれのある野生動植物の中で、特に保護の優先順位が高いものとして国が指定したものを。鳥類、昆虫類、哺乳類、植物など90種が指定されている(平成24年4月現在)。

指定を受けている種の例

コウノトリ、トキ、ハヤブサ、タンチョウ、ヤンバルクイナ、シマフクロウ、イリオモテヤマネコ、スイゲンゼニタナゴなど

第4編

絶滅に陥った原因は?

生息地の減少

ヒョウモンモドキは、キセルアザミやタムラソウ、ノアザミといった餌となる植物が生える湿地や休耕田、農地周辺の草地に生息します。しかし、この数十年の間に、人のくらしや農業の仕方が変化することによって減少していききました。

観光地や農地、宅地などへの大規模な開発が進められ、湿地が埋め立てられていきました。また、農地を整備する事業(ほ場整備)などにより生息地が影響を受けました。これらにより、生

捕獲

個体数が少なくなった中で過度の採集が行われたことが、減少に拍車をかけました。



▲チョウの蜜源となるノアザミが減少してしまいました

休耕田や里山の荒廃

休耕田や里山の手入れができなくなり、キセルアザミの生えている湿地を覆ってしまいました。また、あぜなどに生えているノアザミが、他の草に覆われて咲きにくい環境になってしまいました。

お問い合わせ先

番外編

エヒメアヤメ



※沼田西の自生南限地帯が、国から天然記念物として指定。環境省：絶滅危惧Ⅱ類（絶滅の危険が増大している種）

オグラコウホネ



環境省：絶滅危惧Ⅱ類

ハクセンシオマネキ



環境省：絶滅危惧Ⅱ類

ナメクジウオ



※有竜島（幸崎沖）付近の生息地が、国から天然記念物として指定。水産庁：危急種（絶滅の危険が増大している種）

ハッチョウトンボ



広島県：絶滅危惧Ⅱ類

三原市に生息するその他の希少動植物

生活環境課
☎0848・67・6194

今年3月、広島県や三原市、世羅町、学識経験者、地域住民の代表など14人の役員からなるヒョウモンモドキ保全地域協議会が設立されました。その最大の役割は、保護活動全体の舵取りと調整です。協議会では、中期にわたる活動が計画されています。

保護活動を強力に推進



協議会として今後どのような保護活動に取り組みたいですか？
生息地の保全と改善、新たな生息地の創出などに取り組みます。そして3

と、③三原・世羅に生きる人たちが、自然と穏やかな付き合い方をしてきたのではないかと考えています。

なお、一つ目の理由で示している三原・世羅の地域に存在する湧水湿地やため池群は、環境省から「日本の重要湿地500」に選定されるとともに、ラムサール条約の候補地にも名前が挙がっています。

インタビュー

なぜ三原市と世羅町だけで、ヒョウモンモドキが生息できているのでしょうか？
理由は3つ考えられます。①他の地域よりも、生息に適した湿地が多かったこと、②ヒョウモンモドキ保護の会が、早くから保護活動に取り組んできたこと、③三原・世羅に生きる人たちが、自然と穏やかな付き合い方をしてきたのではないかと考えています。

また、20年後、30年後という将来を見据えた場合、次世代の保護の担い手である子どもたちの心を育てたいとも思っています。保護活動が持続していくことの一つの鍵は、子どもたちが、ヒョウモンモドキをはじめとする生物多様性のすばらしさを理解し、そこに住んでいるという誇りを感じてくれることにあると考えています。

今、私たちがしなければならぬことは、ヒョウモンモドキを絶滅種にするかしないかは、三原・世羅に住んでいる人たちの知性や英知にかかっていると言っても過言ではないと思っています。

これまで、ヒョウモンモドキを保護するための学習会や生息地の環境整備、自然観察会などに取り組んできました。環境の大切さや久井地域の里山・生き物の魅力を伝える活動が進められています。

これまでに、ヒョウモンモドキを保護するための学習会や生息地の環境整備、自然観察会などに取り組んできました。環境の大切さや久井地域の里山・生き物の魅力を伝える活動が進められています。

これまで、ヒョウモンモドキを保護するための学習会や生息地の環境整備、自然観察会などに取り組んできました。環境の大切さや久井地域の里山・生き物の魅力を伝える活動が進められています。

これまで、ヒョウモンモドキを保護するための学習会や生息地の環境整備、自然観察会などに取り組んできました。環境の大切さや久井地域の里山・生き物の魅力を伝える活動が進められています。

素晴らしい場所に
住んでいるという自信を

インタビュー



くしい環境会議
代表 小島照行 さん

長年にわたって、人間と自然が関わり合い出来上がった里山。その良さを感じてもらおうとともに、素晴らしい場所に住んでいるという自信を持ってもらいたいです。ヒョウモンモドキは、その素晴らしさの象徴だと思っています。



▲学習会と草刈りのようす



学習会や観察会を実施
水辺環境の見直しをテーマに活動を展開しているくしい環境会議。地域内にある渓谷の環境整備やホタルマップの作成などに加えて、ヒョウモンモドキの保護活動にも取り組んでいます。平成18年に、みはらし環境塾の久井地域としてスタートし、平成20年に、くしい環境会議として組織が整備されました。

飼育繁殖で種を確保
せら夢公園敷地内にある自然観察園で、ヒョウモンモドキの飼育繁殖が行われています。絶



せら夢公園

くしい環境会議

☎0847・32・6073

これまでの取り組みが評価され、今年5月に国土交通省から「まちづくり月間まちづくり功労者国土交通大臣表彰」が贈られました。

国土交通大臣から表彰

これまでに、ヒョウモンモドキを保護するための学習会や生息地の環境整備、自然観察会などに取り組んできました。環境の大切さや久井地域の里山・生き物の魅力を伝える活動が進められています。

ヒョウモンモドキの保護ができるのは、
そこに住んでいる人たちだけ

【プロフィール】さかもと みつる（広島市昆虫館 学芸員）
東京都出身、51歳。愛媛大学農学部修士課程修了。平成元年、昆虫館職員となり、広島県の昆虫相の解明と希少昆虫類に関する調査、保護活動に取り組む。今年からミヤジマトンボ保護管理連絡協議会、ヒョウモンモドキ保全地域協議会の会長に就任。7月には、ミヤジマトンボが生息する宮島（廿日市市）の沿岸地域の一部が、国際的に重要としてラムサール条約の登録湿地となった。

ヒョウモンモドキを保護することができるのは、そこに住む人たちだけなのです。これを学習素材として扱えるのも、この場所だけの特権ともいえます。ほんの少しずつの保護活動へ理解が、大きな動きにつながるはず。

ヒョウモンモドキ
保全地域協議会
会長
坂本 充 さん



せら夢公園
自然観察園主任
猪谷信忠 さん

子どもたちの声 Voice



見学会に参加して

久井小3年 宗行紗弥さん
初めて見たヒョウモンモドキは思ったより小さかったです。久井にずっと生き続けてほしいです。



劇に向けて

久井小5年 石原侑菜さん
ヒョウモンモドキや貴重な生き物がある久井町に住んでいて幸せだと思います。地域の人たちへ感謝の気持ちを伝えたいです。



神田東小3年 越水麻央さん
地域の人たちの頑張りがあったから、今もヒョウモンモドキが生き残っているということを伝えたいです。いつまでも生き続けてほしいです。



神田東小4年 新谷駿仁さん
ヒョウモンモドキの生息地を、みんなで協力して守っていきたいです。貴重なチョウであることをみんなに知らせたいです。

● 神田東小学校
今月予定している学習発表会で、ヒョウモンモドキをはじめとした、「上徳良地域の宝」について劇で演じることにしています。
先月13日、事前準備として、ヒョウモンモドキ保護の会の須内美穂子さんを講師に、学習会が行われました。平成16年に当時の3、4年生が、ヒョウモンモドキを幼虫から育てたようすを記録したビデオを鑑賞し、その生態などについて改めて学んだ子どもたち。地域から無くなるうとしていた宝。それを守るために多くの地域の人たちが関わっていることを知りました。豊



▲真剣に学ぶ子どもたち

かな自然に包まれて、大きく成長した子どもたちが、地域の皆さんや家族に劇を贈ります。

か弱くも優雅に舞うヒョウモンモドキ。このチョウの姿を見ることができると、日本では、ここ三原市と世羅町のみとなっていました。
生息を支えているのは、地域の大きな力です。その力は、少しずつですが確実に次世代へと受け継がれています。今できることを懸命に考え、表現しようとしている子どもたち。地域の人たちが残してくれた宝が、郷土愛や郷土への誇りを育んでいます。
取材協力・写真提供
日本チョウ類保全協会(第1〜4編作成協力)
ヒョウモンモドキ保護の会
せら夢公園
広島市昆虫館

劇で演じる保護活動

地域の皆さんの保護活動を目的とした子どもたちが、ヒョウモンモドキについての劇を行う予定にしています。
いずれも今年度をもって閉校となる久井小学校と神田東小学校の取り組みを紹介します。

● 久井小学校

「ヒョウモンモドキとわたしたち」をテーマに、地域の人たちに伝えたい思いを5年生18人が台本にまとめる作業を行なっています。出来上がった台本をもとに、1、4年生57人が、劇で演じます。

同小では、6月に広島市昆虫館の坂本さんを講師に招き、事前学習を行いました。この学習では、ヒョウモンモドキはどのようなチョウで、どんな人たちが保護活動をしているのかなどを学んだ後、現地の見学を行いました。見学では、実際にヒョウモンモドキの舞う姿を確認することができ、子どもたちの歓声が上がりました。



▲劇に向け台本作りが進んでいます

こうして学んだことや感じたことをまとめる作業が進んでいます。指導する平賀智明教諭は「久井の地に住んでいることの素晴らしさを子どもたちに感じてほしいです。そして、ふるさとを守っていくという気持ちを育てていければ」と語ります。
来年2月に行う閉校行事。参加を予定する多くの地域の皆さんに思いを伝えるために上演する劇。閉校は終わりではなく、新しいスタートと位置付け、それぞれの思いをつなぐ取り組みが行われています。

最終編

つながる郷土愛

コラム

多様な生物が生息する里山を守っていく活動や学習素材として活用する取り組みが行われています。

南方小でオオムラサキの保護活動

7月5日、南方小の6年生18人が、学校近くの森で竹を伐採しました。目的は、絶滅危惧種のオオムラサキの保護です。密生する竹を切り、幼虫が食べるエノキを救いたい。広島市昆虫館の坂本さんと、森の再生と自然保護を図るために活動をしている、もりメイト倶楽部 Hiroshima の指導により5年も続くこの活動。
竹の除伐により、オオムラサキが舞い、多様な生物がくらす雑木林がよみがえります。参加した井上雄次郎さんは、「太い竹を切るの大変だったけど、楽しかったです。他の木にも太陽の光が当たるようになってよかったです」と息を弾ませていました。



▲悪戦苦闘しながら竹を切る南方小の子どもたち



▲元気にはしゃぐ子どもたちの声がこだましました(中之町学校林)

中之町学校林で自然塾

8月6日、中之町学校林に流れる小川で遊ぶ体験学習が行われ、中之町幼稚園に通う園児らが参加しました。里山学校子ども自然塾と題したこの行事は、市内で里山の保護や再生などに取り組んでいるNPO法人「フォレストサポートクラブ」の指導により行われました。

林の中を流れる小川で魚をすくって楽しむ子どもたち。普段ではできない体験に目を輝かせていました。指導した同クラブの新居康男さんは、「自然を大切にしようという気持ちを育んでもらえたら」と、こやかに語りました。



地域課題の解決や 商品開発を促進

8月31日、県立広島大学への研究開発助成事業の成果発表会を行いました。

保健・医療・福祉の向上や産業振興などに関する研究開発を、同大学と連携して行うこの事業。その成果を市内へ還元することにより、本市の振興や地域経済の活性化を図ることを目的としています。研究開発の課題は、市から提案するものと、市内の事業所と協力して商品化や実用化をめざすものがあります。

発表会では、昨年度採択した研究課題5件について、その成果が示されました。



▲研究成果について発表する県立広島大学の金井教授

「砂浜歩行が心身機能に与える影響について」という研究課題では、砂浜でのウォーキングをテーマとし、佐木島にある4カ所の砂浜を比較実験しました。その結果、砂質の違いからストレス発散や運動に適している砂浜があることが確認されました。今後、佐木島の砂浜ウォーキングを観光資源とする可能性が見いだされました。

また、研究課題「三原市産タコの市場調査と加工食品開発」では、粉末状にしたタコの栄養成分と消費者ニーズを分析。栄養成分の点では、コレステロール、中性脂肪、血糖を減少させる効果があることが証明されました。また、たこわさふりかけや、たこ茶なども開発され、今後、新たな市場開拓に期待しています。

今年度も5つの研究課題を採択し、現在研究開発が行われています。

国際交流推進協議会を 設立

海外都市との交流・友好親善や多様な観光・交流の活発化を図るため、8月21日、国際交流推進協議会を設立しました。

設立総会には、商工会議所、青年会議所、観光協会、医師会、県立広島大学など11の団体が参加。会長に五藤市長、副会長に商工会議所の伏見会頭、



▲国際交流に対して意見を述べる各団体の代表者

臨空商工会の梅本会長が選ばれました。委員からは、「目的を持った滞在型観光の促進」や「小・中学生など若い人材の育成」といった意見が出されました。今後は協議会内に、調査研究を行う連絡調整会を設けるほか、海外都市との交流や友好親善に向けた情報収集、訪日外国人観光の推進、受け入れ体制の整備などを協議してまいります。

広報みはらを 電子ブック化

先月から、広報みはらを電子ブック化し、ホームページ上で公開しています。導入したシステムで変換が可能なので、平成22年5月号から最新版までの広報

誌について、電子ブック化しています。電子ブックとは、ホームページ上で広報誌を本のような状態で見ることができ、PDFに対応しています。今後は、ホームページへ広報誌のPDF版に加えて、電子ブック版の二つを掲載してまいります。



▲電子ブック化した広報みはら9月号。画面の操作で、本のようにめくって見ることができます。

総務課
0848・676007



来年度の新生対象 小・中学校が選べます！

この制度は、住所で決まっている学校だけではなく、隣接している学校に入学できるものです。これにより、自宅から近い学校や、特色のある教育を行なっている学校へ通学することができます。

対象 来年度小・中学校へ入学予定の人

※転居などの場合を除き、卒業まで学

校を変えることはできません。
※各学校のようすを見学することができます。日程は変更になる場合があります。詳しくは、各学校へお問い合わせください。
※来年度からの名称で表記している小
学校があります。

☎ 0848・67・6154
◎ 学校教育課(城町庁舎2階)

申請できる隣接校と定員など【小学校】

入学を希望する学校	定員	申請できる隣接校	公開研究会の日程
三原小	30人	糸崎小、中之町小、西小、南小、久井小(注)	10月4日(木)
糸崎小	10人	三原小、木原小	
木原小	10人	糸崎小	
中之町小	10人	三原小、深小	10月15日(月)
西小	20人	三原小、南小、沼田小	10月26日(金)
田野浦小	10人	南小	10月5日(金)
須波小	10人	幸崎小	
深小	10人	中之町小	10月12日(金)
南小	20人	三原小、西小、田野浦小、久井小(注)	11月30日(金)
沼田小	10人	西小、沼北小(注)	
沼北小(注)	10人	沼田小、本郷小	
沼田東小	10人	沼田西小、小泉小	
沼田西小	10人	沼田東小、小泉小、本郷小、南方小	11月28日(水)
小泉小	10人	沼田東小、沼田西小	10月3日(水)
幸崎小	10人	須波小	10月16日(火)
鷺浦小			10月3日(水)
船木小	10人	本郷小、北方小、大和小(注)	
本郷小	20人	沼北小(注)、沼田西小、船木小、北方小、南方小	10月15日(月)
北方小	10人	船木小、本郷小、南方小	11月8日(木)
南方小	20人	沼田西小、本郷小、北方小	10月24日(水)
久井小(注)	10人	三原小、南小、大和小(注)	
大和小(注)	10人	船木小、久井小(注)	

(注)は来年度新設校

【公開研究会の日程】

- 高坂小:10月23日(火)
- 八幡小:10月3日(水)
- 久井小:10月3日(水)
- 羽和泉小:10月3日(水)
- 久井南小:10月3日(水)

申請できる隣接校と定員など【中学校】

入学を希望する学校	定員	申請できる隣接校	公開研究会の日程
第一中	10人	第二中	11月14日(水)
第二中	20人	第一中、第三中	11月10日(土)
第三中	30人	第二中、宮浦中、久井中	
第四中	10人	幸崎中	10月17日(水)
第五中	20人	宮浦中、本郷中	
幸崎中	10人	第四中	
宮浦中	20人	第三中、第五中	11月15日(木)
本郷中	10人	第五中、久井中、大和中	
久井中	10人	第三中、本郷中、大和中	12月12日(水)
大和中	10人	本郷中、久井中	10月3日(水)





国保だより

加入者みんなが健康を支え合う国民健康保険

国民健康保険(国保)は、職場の健康保険などに加入していない74歳までの人が、病気やけがをしたとき、安心して医療などを受けるための制度です。

●今月1日からは、新しい保険証の使用を

今月1日から、国保の保険証が新しくなります。医療機関などで受診する場合は、必ず新しい保険証を提示してください。



▲新しい保険証(見本)

ただし、表1に当てはまる人は、有効期限が異なります。それぞれ有効期限が切れる前に、新しい保険証を送付します。

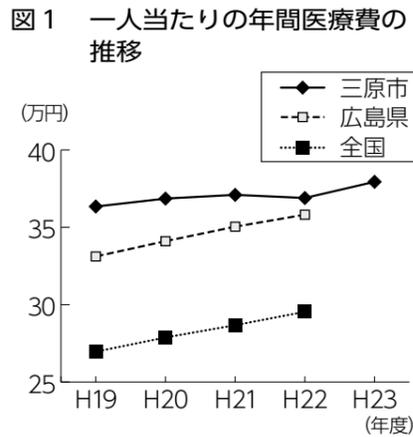
Table 1: Validity Period (有効期限) by category (対象). Categories include people turning 75, retired insured persons, and dependents. Validity periods range from the day of birth to the end of the previous month.

●国保の届け出Q&A

Q 会社の保険に加入したのですが、国保の保険証は捨ててもよいですか？

A 会社の保険に加入したら、国保を脱退する手続きが必要です。保険証も返還しなければなりません。国保の保険証、新しい保険証、印鑑を持って届け出をしましょう。(注)届け出をすると、国保の保険証は、会社の保険に加入した日から無効になります。会社の保険に加入した日以降に、病院などで国保の保険証を使うと、医療費の返還を請求する場

●全国平均を大幅に上回る医療費



届出先 いずれも市民課(市役所本庁1階)、各支所の地域振興課

Q 会社を辞めたのですが、国保に入るにはどうしたらよいですか？

A 会社の保険をやめた証明書(資格喪失証明書)と印鑑、運転免許証などの身分証明書を持って届け出をしてください。

国保医療課 0848-676050 0848-642130

本市では、全国平均や県平均と比べて高い医療費がかかっています(図1)。特に、1カ月間に頻りに病院で受診するために医療費が高くなる傾向があります。それぞれが、できることから取り組んで医療費を削減していきましょう。

●みんなのできる医療費の削減

- ①定期的に健診やがん検診を受けて、病気の重症化を防ぎましょう。
②ジェネリック医薬品を積極的に利用しましょう。
③同じ病気で複数の病院に何度もかかるのはやめましょう。
④薬のもらいすぎに注意しましょう。
⑤休日や夜間は、よく考えて受診するようにしましょう。

ジェネリック医薬品による医療費削減報告
国保では、ジェネリック(後発)医薬品に切り替えた場合に自己負担の削減額が大きい人へ通知をしています。
●4月分の削減効果
・切り替えた人数 2,221人
・削減された金額 401万2,014円

無料相談を開催します

※いずれも希望者は直接会場へ。

一日総合相談室

とき 4日(木)13時30分~16時30分
ところ サン・シープラザ(4階)
内容 行政への要望、相続や消費生活問題、外国人の在留資格や社会保険(通訳あり)など
参加機関 中国四国管区行政評価局 行政相談委員

中国四国管区行政評価局 行政相談委員

情報公開・個人情報保護総合案内所 広島法務局尾道支所 尾道人権擁護委員協議会 広島司法書士会尾道支部 広島県土地家屋調査士会尾道支部 ひろしま国際センター 三原市心配ごと相談所 三原市消費生活センター 三原市 問い合わせ先 生活環境課 ☎084

公立くい診療所 新しい施設で診療を開始



今年2月から工事を進めてきた、公立くい診療所の新施設が完成し、先月3日から診療を開始しました。機器の更新も行い、より快適な地域医療を提供していきます。

公立くい診療所 ☎0847-32-6111

受付時間 午前=8時30分~11時30分、午後=14時30分~16時30分
診療時間 午前=8時30分~12時、午後=15時~17時

Table showing clinic hours by day (月, 火, 水, 木, 金) and department (外科, 内科, 整形外科, リハビリテーション科). Hours are listed for morning and afternoon sessions.

行政相談

15日(月)~21日(日)は行政相談週間
行政に関する苦情や意見、要望を受け、行政運営の改善につなげていきます。秘密は固く守られますので、気軽に相談してください。
とき・ところ
▼17日(水)9時~15時 久井保健福祉センター
▼17日(水)13時~16時 本郷福祉センター(心配ごと相談内)
▼19日(金)13時~16時 サン・シープラザ(3階)
▼26日(金)9時~12時 大和保健福祉センター

市内の行政相談委員

- 井藤善人さん (須波 ☎0848-67-0015)
中谷正男さん (須波 ☎0848-67-0015)
小坂町 ☎0848-66-2087
岡本孝一さん (本郷町 ☎0848-86-5366)
秦良子さん (久井町 ☎0847-32-7708)
西川千代美さん (大和町 ☎0847-34-0640)
問い合わせ先 生活環境課 ☎0848-67-6179 ☎0848-67-6164

司法書士一日法律相談会

とき 13日(土)10時~15時
ところ サン・シープラザ(3階)
内容 土地・建物や会社・法人の登記、簡易裁判所訴訟代理など
問い合わせ先 広島司法書士会尾道支部 ☎0848-63-2836

行政書士一日相談会

とき 13日(土)10時~16時
ところ イオン三原店(城町二丁目)
内容 相続、遺言手続き、成年後見、農地法、法人設立、車の登録など
問い合わせ先 行政書士会三原支部 ☎0848-66-2984

法の日週間法律相談室

とき 10日(水)10時~15時
ところ しまなみ交流館(JR尾道駅前)
内容 金銭、土地建物、登記、夫婦親子、相続、交通事故などの法律問題
問い合わせ先 広島地方検察庁尾道支部 ☎0848-23-3529

一口調停相談会

とき 11日(木)10時~15時
ところ しまなみ交流館(JR尾道駅前)
内容 交通事故、金銭、土地建物、公害、夫婦、親子、相続問題など
問い合わせ先 尾道民事調停協会 ☎0848-25-4856

かんきょう会議浮城 楽習会「竹パウダー で米・野菜作り」 講座への参加者

と き 21日(日)13時～16時
 ところ 社会福祉法人あけぼの(深町)
 定 員 20人(申し込み先着順)
 参加費 無料
 ※参加者に竹パウダーをプレゼント。



せとうち海上環境&体験航海 セミナーへの参加者

と き 20日(土)9時30分～15時30分
 集合場所 糸崎港(糸崎南二丁目)
 内 容 瀬戸内海の航海体験と環境学習
 対 象 小学4～6年生
 定 員 40人以内(多数の場合抽選)
 参加費 無料



申し込み いずれも11日(木)(必着)までに、①参加を希望する行事名②郵便番号③住所④名前⑤電話番号⑥学校名(学年)⑦性別を生活環境課(〒723-8601港町三丁目5番1号 ☎0848・67・6194 FAX0848・67・6199 ㊟seikatsukankyo@city.mihara.hiroshima.jp)へ

勤労青少年ホーム 教養講座・文化スポーツクラブの後期受講生

受付時間 9時～18時(土・日曜日、祝日も受け付けています)
 対 象 昭和47年4月2日～平成9年4月1日生まれで、市内・近郊に在住または通勤している勤労者
 申し込み 申込書(リージョンプラザに用意)に、会費250円と受講料を添えて、リージョンプラザへ

※定員は申し込み先着順です。
 ※申込者が少ない場合、中止になることがあります。
 ※開催日が変更になる場合があります。



期 間	講座・クラブ名	定 員	開催日(曜日)	受講料	と ころ
11月～3月	英会話教室	各20人	第2・4(月)	5,000円	勤労青少年ホーム 娯楽音楽室
	パン・お菓子教室		第1・3(火)	12,500円	サン・シープラザ 調理実習室
	ヨーガ教室	40人	第2・4(火)	2,500円	勤労青少年ホーム 軽運動室
	生け花(池坊)教室	20人	第1・3(水)	5,000円	勤労青少年ホーム 娯楽音楽室
	着物着付け教室 木曜コース	10人	第1・3(木)		リージョンプラザ南館 和室
	アロマセラピー・ハーブ教室	各10人	第3(木)	10,000円	勤労青少年ホーム 娯楽音楽室
	茶道教室		第2・4(金)		勤労青少年ホーム 和室
10月～3月	バドミントン	各20人	毎週(月)	3,000円	リージョンプラザ 主体育館
	ビーチボールバレー				

※時間はいずれも19時～21時(パン・お菓子教室のみ18時30分～21時)。
 ※勤労青少年ホームは、リージョンプラザ2階です。

青少年女性課
 ☎0848・64・9234
 FAX0848・67・5912

第8回市民体育大会

7日(日) 9時～16時

地域が一体となって、熱戦を繰り広げる市民体育大会。皆さんの声援をお願いします。

ところ 三原運動公園



高齢者や子ども連れ、障害のある人も
安心な観覧席(ユニバーサルスペース)

手話通訳や要約筆記、介助ボランティアを配置しています。
気軽に利用してください。



プログラム

種目	性別	出場者	予定時刻
1 小学生混合リレー	男女	小学生	9:50～
2 ジグザグボール蹴り競争	女	40歳以上	10:05～
3 中学生混合リレー	男女	中学生	10:20～
4 ラグビーボール蹴り競争	男	50歳以上	10:35～
5 ゲートボール・グラウンド・ゴルフ競争	男女	60歳以上	10:50～
6 400mリレー	男	20歳以上・30歳以上	11:15～
7 小学生ボール蹴り競争	男女	小学生	11:25～
8 400mリレー	男	40歳以上・50歳以上	11:45～
昼食休憩・特別応援			
9 玉入れ競争	男女	年齢制限なし	13:00～
10 縄跳びトラック競争	男女	男:30歳以上 女:20歳以上	13:30～
11 ボウリング競争	女	30歳以上	13:45～
12 二人三脚むかで競争	男女	男:30歳以上 女:20歳以上	14:10～
13 総合リレー	男女	小学生～60歳以上	14:25～

無料臨時バス時刻表 芸陽バス

JR三原駅前浮城広場→運動公園					運動公園→JR三原駅前浮城広場			
浮城広場	三中前	宮浦中央	明神	運動公園	運動公園	宮浦中央	三中前	浮城広場
8:15	8:20	—	8:28	8:40	10:45	—	11:00	11:10
8:30	—	8:35	8:38	8:50	11:00	11:10	—	11:20
8:45	8:50	—	8:58	9:10	11:15	—	11:30	11:40
9:00	—	9:05	9:08	9:20	11:30	11:40	—	11:50
9:15	9:20	—	9:28	9:40	11:45	—	12:00	12:10
9:30	—	9:35	9:38	9:50	12:00	12:10	—	12:20
9:45	9:50	—	9:58	10:10	12:15	—	12:30	12:40
10:00	—	10:05	10:08	10:20	12:30	12:40	—	12:50
10:15	10:20	—	10:28	10:40	12:45	—	13:00	13:10
10:30	—	10:35	10:38	10:50	13:00	13:10	—	13:20
10:45	10:50	—	10:58	11:10	13:15	—	13:30	13:40
11:00	—	11:05	11:08	11:20	13:30	13:40	—	13:50
11:15	11:20	—	11:28	11:40	13:45	—	14:00	14:10
11:30	—	11:35	11:38	11:50	14:00	14:10	—	14:20
11:45	11:50	—	11:58	12:10	14:15	—	14:30	14:40
12:00	—	12:05	12:08	12:20	14:30	14:40	—	14:50
12:15	12:20	—	12:28	12:40	14:45	—	15:00	15:10
12:30	—	12:35	12:38	12:50	15:00	15:10	—	15:20
12:45	12:50	—	12:58	13:10	15:20	15:30	—	15:40
					15:20	—	15:35	15:45
					15:20	—	15:35	15:45

☎スポーツ振興課(☎0848・64・7219 FAX0848・67・5912) ※停留箇所は通常どおりです。

三原駅前市民広場のイベント

6日(土)・7日(日) 9時～ こっとう 骨董市&フリーマーケット

出店者の募集

出店料 1区画につき1,000円/日
申し込み 商工会議所へ

13日(土) 8時～11時 軽トラ朝市

内容 地元の農産物や加工品の販売など

出店者の募集

定員 50店(申し込み先着順)
出店料 無料
申し込み 商工会議所へ

☎商工会議所(☎0848・62・6155)、政策企画課(☎0848・67・6011)

14日(日) 9時～13時 2012パイロットウォーク

内容 脳関連の障害を持つ人への支援や脳の大切さなどを呼びかけながらのウォーキング

参加費 大人1,000円、小学生以上500円(弁当付き)

申し込み先 三原パイロットクラブ 田坂さん(☎0848・62・2031)

28日(日) 13時～15時 保健・福祉まつり 地域防災運動会

内容 防災啓発の運動会、非常食体験など

定員 50人(申し込み先着順) 参加費 無料

申し込み先 NPO法人ちゃんくす(☎0848・36・6525)

※保健・福祉まつりは18ページにも掲載しています。

みてふれてたいけんはっけん! 2012 生涯学習フェスティバル



生涯学習推進月間(10/1~11/30)のイベント

生涯学習に関するさまざまなイベントを開催します。家族や友達で参加して、学びの秋を満喫しませんか。(19ページまで掲載)



とき 10月27日(土)9時30分~16時、28日(日)9時30分~15時

※時間の記載のない行事は、上記の時間です。

▲老人大学の学習活動も今年で40年目を迎えました

クイズラリー

もれなく参加賞をプレゼント! 会場内を回り、クイズに答えて応募しよう。全問正解者の中から抽選で、市内の特産品が当たります。

- リージョンプラザ**
 - 老人大学 学習成果の発表
 - とき 27日(土)・28日(日)
 - 内容 書道、水彩画、日本画、レザークラフトの展示
 - 薬物乱用防止啓発
 - とき 27日(土)・28日(日)
 - 内容 クイズ、パネル展示など
 - 野外広場バザー
 - とき 27日(土)・28日(日)
 - 内容 特産品・手作り作品 東北被災地支援物販など
 - 青年フェスティバル
 - とき 27日(土)・28日(日) いずれも10時~15時
 - 内容 生け花展、アロマセラピー・ハーブ展(体験は28日のみ)、お茶会(28日のみ)
 - 試してみよう! ニュースポーツ
 - とき 27日(土) 9時30分~16時
 - 内容 スポーツ吹き矢、フラ イングディスクなど
 - 遊びのキャラバン隊
 - とき 27日(土) 10時~15時
 - 内容 積み木、ダンボール迷路、親子ピクニックなど
 - 老人大学 囲碁大会 自由参加
 - とき 28日(日) 9時30分~15時
 - 移動式プラネタリウム
 - とき 28日(日) 10時~15時
 - 内容 星座の観賞

参加者の募集

ペーパークラフトで三原城の櫓を作ろう

とき 28日(日)①10時~②13時~

ところ 中央公民館

定員 各回50人(申し込み先着順)

参加費 500円

申し込み 15日(月)までに生涯学習課(☎0848・64・2137)へ

親子たこめし作り教室

とき 27日(土)・28日(日) いずれも10時~13時

ところ 中央公民館

対象 小学生とその保護者

定員 18組(申し込み先着順)

参加費 100円

申し込み 15日(月)までに生涯学習課へ



子ども創作大会 ①キャンドル②砂絵③プラ板

とき いずれも28日(日) 9時~12時

ところ ①中央公民館②リージョンプラザ③リージョンプラザ 南館

対象 いずれも小学生

参加費 無料

申し込み 15日(月)までに青少年女性課(☎0848・64・9234)へ

ふらり体験コーナー(申し込み不要)			
内容	27日(土)	28日(日)	参加費
パソコン	10:00~15:00		無料
陶芸	9:30~15:00	9:30~14:00	300円
レザークラフト	10:00~15:00	—	600円
絵手紙	9:30~15:30	9:30~12:00	無料
香りのハンドマッサージ	10:00~11:30、13:30~15:00	—	
押し花	—	10:00~11:30、13:30~15:00	
バルーンアート	—	10:00~11:30、13:30~15:00	
紙ヒコーキ・ブーメラン	10:00~11:30、13:30~15:00	—	
親子ピクニック・ヨガ	12:00~12:30、14:00~14:30	—	

※場所はいずれも中央公民館です。(紙ヒコーキ・ブーメラン、親子ピクニック・ヨガはリージョンプラザ)

みはら一日若者しごと館

とき 28日(日) 10時~15時

内容 キャリア相談、職業適性診断

中央図書館

三原ふるさと子ども博士講座 活動発表・ワークショップ

とき ①27日(土)②28日(日) ①10時30分~11時30分 ②14時30分~15時30分

内容 ①チリメンモンスター探し②勾玉づくり

参加費 各300円

おはなし広場

▼27日(土) 10時30分~11時30分、14時30分~15時30分

内容 絵本の読み語り

本のリサイクル交換市

とき 27日(土) 13時30分~16時

内容 不要な本の交換市

歴史民俗資料館

甲冑・打掛を着てみよう

とき 27日(土)・28日(日) いずれも10時~15時

内容 甲冑・打掛の着用体験

消防署

防災コーナー

とき 27日(土)・28日(日)

内容 東日本大震災の写真やパネル展示、煙体験、消防車両の展示など

耐震診断・改修相談コーナー

とき 27日(土) 9時30分~16時

内容 清掃工場や浄化場の紹介、ごみの分別コーナー

ステージイベント				
とき	イベント名	内容	ところ	
27日(土)	10:30~12:00	短歌大会表彰式	入賞・入選作品の発表・講評、表彰式	
	14:00~15:00	市民提案型事業の成果発表会	提案団体による成果発表とパネル展示	
	9:30~16:00	教育フェスティバル	小・中学生による合唱・吹奏楽など	リージョンプラザ文化ホール
		青少年育成の集い	作文発表、表彰式、模範活動団体の紹介など	
	10:00~12:00	表彰式	バランス給食メニューコンテスト、ヤング朝食&お弁当クッキングコンテスト、食育標語コンクールの表彰	
	10:00~12:00	園児ステージ発表	園児による学習成果発表	
12:40~14:30	ステージ発表	一般公募団体によるステージ発表	リージョンプラザ屋外ステージ	
28日(日)	14:30~15:00	チアリーディングショー	如水館中学・高等学校チアリーディング部WAVES、KID'S WAVES、JCC WAVESによるショー	
	10:00~12:00	パペット劇場&バルーンアート	県立広島大学パペットサークルによるパペット劇場とバルーンアート	
	13:00~15:00	30周年記念シルバークラフフェア	講演、表彰式	
	9:00~12:00	ステージ発表	老人大学の学生によるステージ発表	リージョンプラザ文化ホール
	13:00~15:00	ステージ発表	一般公募団体によるステージ発表	
	9:30~11:00	ダンスパフォーマンス	スタジオ来夢のパフォーマンスと体験コーナー	リージョンプラザ屋外ステージ
	11:00~11:45	科学マジックショー	科学実験パフォーマー ソッポさんのショー	
	12:00~12:15	ステージ発表	一般公募団体によるステージ発表	
	13:00~15:00	子ども神楽	大草神楽子ども研究クラブの公演	

中央公民館

老人大学 学習成果の発表

とき 27日(土)・28日(日)

内容 編み物、生け花、絵画、陶芸、写真などの展示

男女共同参画推進パネル展

とき 27日(土)・28日(日)

放課後子ども教室展示

とき 27日(土)・28日(日)

内容 写真や作品展示で放課後子ども教室を紹介

展示コーナー

とき 27日(土)・28日(日)

内容 短歌大会入選作品・絵画・絵手紙などの展示

30周年記念シルバークラフフェア

とき 27日(土)・28日(日) いずれも10時~15時

内容 中学生のシンガポール研修・交流の報告展示

市民学芸員活動発表

とき 27日(土)・28日(日) いずれも10時~15時

内容 パネル展示など

少年少女海外研修・交流発表

とき 27日(土)・28日(日) いずれも10時~15時

内容 中学生のシンガポール研修・交流の報告展示



市民保健・福祉まつり

保健福祉課
☎0848・67・6234

27日(土)・28日(日)

場所 サン・シープラザほか

●元氣いっぱい太鼓と歌

とき 27日(土)10時

出演 宮沖保育所園児

●昔なつかしの紙芝居

とき 27日(土)10時30分

読み手 紙芝居師 録田健次さん

●表彰式

とき 27日(土)13時30分

内容 80200いい歯の表彰、献血功

労者表彰

●記念講演

とき 27日(土)14時～15時10分

演題 柏村武昭のいきいき人生

講師 柏村武昭さん

参加費 無料

定員 150人

(先着順)



●楽しく踊ろう！

とき 27日(土)15時20分

●第8回みはら福祉大会

とき 28日(日)9時30分

内容 福祉関係者と団体の表彰など

●演劇公演「ももたろう」

とき 28日(日)11時30分

出演 在宅保健福祉活動の会「かもめ

笑い学級

●アンチエイジング

スペシャルイベント

とき 28日(日)13時～15時

第1部(13時～14時)

内容 講演会

演題 健康美カリスマ魔女から学ぶコ

ツ

講師 メディカルフィットネスB・i

鳥居比路さん

定員 150人(先着順)

参加費 無料

第2部(14時～15時)

内容 ①エクササイズ講座②メイクア

ップ講座

講師 ①メディカルフィットネスB・i

松本直子さん②資生堂販売 中四国

支社 大道里奈さん

定員 ①100人(先着順)②30人(要

予約、申し込み先着順)

※②は50歳以上の女性が対象です。

参加費 ①無料②1,000円(化粧用

具付き)

※①は運動のできる服装・靴で参加して

ください。(簡単体力チェックあり)

申し込み 17日(水)までに保健福祉課

へ

生涯学習推進月間(10/1～11/30)

※広報みはら11月号へ掲載するイベントもあります。

市美術展覧会

とき

▼絵画・デザイン 4日(木)～9日

(火)

▼彫刻・工芸・書・写真 12日(金)～17

日(水)

※いずれも10時～18時。

ところ リージョンプラザ

入場料 無料

問い合わせ先 観光文化課 ☎084

8・67・6015

市民企画のいきいきセミナー

とき

6日(土)14時～15時30分

ところ サン・シープラザ(4階)

内容 働く女性のモデルとして、自身

の生き方や、大学内での男女共同参

画への取り組みについて講演

演題 大学と女性

講師 広島大学副学長 土屋英子さん

定員 70人(先着順)

参加費 無料

問い合わせ先 青少年女性課 ☎08

4・8・64・9234

本郷公民館まつり

とき 14日(日)9時30分～16時30分

ところ 本郷公民館

内容 学習成果の発表と交流

問い合わせ先 本郷公民館 ☎084

ほんごう文化祭

とき 20日(土)10時～17時、21日(日)

9時～16時

城町庁舎/サン・シープラザ 27日(土)9時30分～16時、28日(日)9時30分～15時開催

2階		3階	
機能訓練自主グループの紹介(作品展示)	老人クラブ連合会(手作り作品の展示)	薬の相談コーナー(クイズ(景品あり)、禁煙指導など)	無料歯科相談、歯ブラシ指導
知っ得がん検診(パネル展示、検診の相談)	広島県介護福祉会(介護相談、高齢者疑似体験)	公衆衛生活動の紹介(水辺教室の紹介、ゴミ分別ゲームなど)	障害者生活支援センター手作り作品展示・販売
知っ得国保特定健診(パネル展示)	ザ★手作り体験チャレンジ(バルーン、飛行機づくり)	まちの保健室(体脂肪・骨密度・カラダ年齢測定など)	みはら福祉展(作品展、バザーなど)
		赤十字ひろば(救急法、救護服試着体験など)	ポップコーン、綿菓子の販売
		適塩生活のコツ(パネル展示、クイズなど)	福祉オリエンテーリング(点字・手話などの体験)
		環境とくらしにやさしい工夫展(エコ作品展など)	アンチエイジングな食事の展示(試食、クイズなど)

イベント名	27日(土)	28日(日)	ところ
人権擁護委員の活動紹介(人権キャラクターとのふれあい)	9:30～16:00	-	2階 教育委員会事務局前廊下
献眼・献腎の啓発・登録、アイヘルス事業	-	9:30～15:00	保健福祉課事務局横北側廊下
ニュースポーツの体験(輪投げ、スポーツ吹き矢など)	9:30～16:00	-	3階 保健推進室
心電図の無料測定(各30人先着順)	13:00～15:30	9:30～12:00	
腹部超音波の無料検査(25人先着順)	-	9:30～15:00	障害者生活支援センター
内科医、整形外科医などによる健康相談	14:00～16:00	12:00～15:00	
携帯ストラップ作り	10:00～16:00	10:00～11:00	第1会議室
喫茶コーナー(コーヒー、紅茶(クッキー付き)の販売)	11:00～16:00	-	
ストレッチ&リラックス(音楽に合わせた運動)	-	10:00～15:00	テレワーク体験室
はり、きゅう、マッサージの実技紹介	10:00～15:00		サンライズ港町(港町一丁目)
テレワーク室無料開放(27日)、パソコン教室(28日)	9:30～16:00	9:00～15:00	
生け花・バザー	9:30～16:00	9:30～15:00	
オープンカフェ	10:00～16:00	10:00～15:00	

浮城ふれあいコンサート

とき 25日(木)18時～20時30分

ところ 芸術文化センターポポロ

出演 ミネハハ&如水館中学・高等学

校吹奏楽部

予定曲 一本の鉛筆、千の風になって、

ありがとう地球ほか

定員 1,200人(申し込み先着順)

申し込み先 三原浮城ライオンズクラ

ブ ☎0848・63・2253

秋の企画展

大内コレクション名筆展

日本史を飾った人々

とき 11月1日(木)～25日(日)10時

18時(入場は17時30分まで)

ところ リージョンプラザ 展示ホー

ル

内容 歴代天皇、藤原定家、徳川家康

などの書約60点を展示

入場料 大人500円、大学生300

円、高校生以下・障害のある人 無料

●ギャラリートーク

とき 11月1日(木)10時30分

解説 大内康さん

●講演会

書におけるみやび ～近衛家の王朝文

お茶会 茶道上田宗簡流

講師 陽明文庫文庫長 名和修さん

とき 11月17日(土)・18日(日)10時

15時

ところ リージョンプラザ 文化ホー

ル

参加費 400円

※お茶がなくなり次第終了。

問い合わせ先 観光文化課 ☎084

歴史民俗資料館

蔵出しお宝展

とき 11月3日(土)～7日(水)10時

18時

ところ 市民ギャラリー(ペアシティ

三原西館2階)

内容 三原市ゆかりの貴重な資料を展

示

問い合わせ先 歴史民俗資料館 ☎0

848・62・5595

中之町コミセン文化祭

とき 11月4日(日)9時～15時

ところ 中之町コミュニティセンター

内容 学習成果の発表と交流

問い合わせ先 中之町コミュニティセ

ンター ☎0848・64・4099

11月1日は三原教育の日

記念講演会

三原の宝、
地域が育む子どもたち
～限らない愛が、
子どもの未来を輝かせる～

とき 11月1日(木)19時～

20時30分

ところ リージョンプラザ

文化ホール

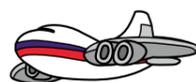
講師 県立広島大学理事長
兼学長 赤岡 功さん

参加費 無料
※希望者は直接
会場へ。



☎教育振興課
☎0848・67・6152

ひろしま空の日2012 ふれあい秋まつり



14日(日) 10時~15時

メイン会場 広島空港ターミナルビル

◆スタンプラリー大会

参加費無料

三景園、広島エアポートホテル、フォレストヒルズガーデンなどを巡るスタンプラリー。

受け付け 10時~(メイン会場)

定員 2,000人(当日受け付け順)

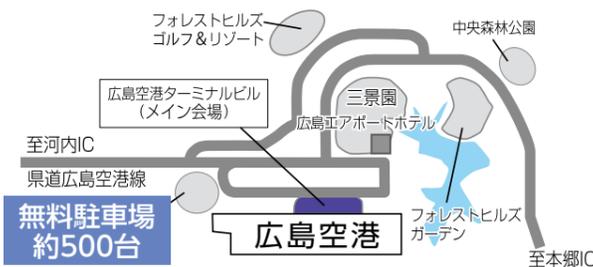
※参加者には、抽選で地元の特産品などをプレゼント。

◆空港内や周辺施設でのイベント

- ・麻薬探知犬デモンストレーション
- ・航空会社子ども用制服・韓国民族衣装着せ替えコーナー



- ・フライトシミュレータ体験
- ・見学送迎デッキの無料開放
- ・ビンゴ大会、クイズ大会
- ・県防災航空センター見学会
- ・海上保安庁航空機見学会など



ひろしま空の日2012ふれあい秋まつり実行委員会事務局(政策企画課内 ☎0848・67・6011)

県内の観光情報

ちょっとそこまで足を伸ばしてみませんか

ひろしまフードフェスティバル

27日(土)・28日(日) 10時~17時

食欲の秋、地産地消をテーマに、県内の名産や特産品を一堂に集めた食の祭典。盛りだくさんのひろしまの味覚を味わいませんか。

ところ 広島城周辺ほか

内容 殻付き焼きがきの即売、三原のタコなど県内市町の故郷の味など

※メイン会場の広島城では、音楽や大菊花展も楽しめます。



ひろしまフードフェスティバル実行委員会(RCC事業部内 ☎082・222・1133)

2012だいわ元気まつり

14日(日) 9時~16時

ところ 白竜湖スポーツ村公園

◆ステージイベント

- ・ブラスバンド演奏(大和中学校)
- ・雅楽の演奏と舞(神田小学校)



- ・合唱と合奏(和木小学校)
- ・よさこいソーラン(榎梨小学校)
- ・ヒップホップダンス(DKK)

- ・ひょっとこ踊り(神田ひょっとこクラブ)
- ・バンド演奏(バンド・フェニックス)
- ・少年白竜太鼓(神田東小学校)
- ・子ども神楽(大草神楽子ども研究クラブ)
- ・神楽(大和町連合神楽保存会[萩原])
- ・やっさ踊り(白竜やっさの会)
- ・ビンゴゲーム大会

◆食のイベント

- ・秋の味覚満載の屋台村
- ・大和まるごと鍋など



◆キッズコーナー

- ・消防コーナー
- ・ゲームコーナーなど

※天候などにより変更になる場合があります。※駐車場は、公園内の駐車場を利用してください。

だいわ元気まつり実行委員会(大和町自治振興連合会事務局 ☎0847・33・0223)

芸術文化センター ポポロ

気軽にライブ Autumn Concert

フルートとオーボエが紡ぎ出す名曲の数々

21日(日) 14時~

ところ ホワイエ

予定曲 愛の挨拶、トップ オブ ザ ワールド、ガブリエルのオーボエほか

出演 根石照久(フルート)、甲田 恵(オーボエ)、梶矢民子(ピアノ)

定員 120人(先着順)

入場料 500円

販売場所 ポポロ



▲フルート 根石照久 ▲オーボエ 甲田 恵

芸術文化センター ポポロ(☎0848・81・0886)

第1回久井!さわやか高原祭り

28日(日) 9時~15時

ウッシッシ祭から改名。手に汗握る牛そり逆転レースも開催します。

ところ 久井保健福祉センター、くい文化センター周辺

内容 牛馬市の再現、大縄跳び大会、大声大会、早食い早飲み大会(当日受け付け)、琉球創作エイサー、如水館中学・高校チアリーディング、牛そり逆転レース、飲食・展示コーナーなど



和太鼓コンサート「打打打団 天鼓」

世界を熱狂させた和太鼓エンターテイメントが三原にやってくる!!

佛通寺公演~紅葉とのコラボレーション~

11月10日(土) 15時~

ところ 佛通寺(高坂町)

定員 80人(多数の場合抽選)

参加費 無料

申し込み 17日(水)(必着)までに、往復はがき(1枚につき二人まで入場可)に、①郵便番号②住所③名前④電話番号を記入し、芸術文化センター ポポロ 佛通寺コンサート係(〒723-0051宮浦二丁目1番1号)へ

観光文化課(☎0848・67・6014)

芸術文化センター ポポロ公演

11月11日(日) 15時~

入場券販売中

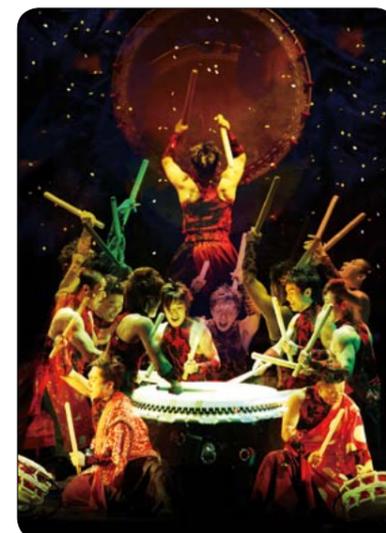
ところ ホール

入場料 S席:3,500円、A席:2,000円、B席:1,000円

※S席・A席は指定、B席は自由。※小学生以上から入場できます。

販売場所 ポポロ、うきしろロビー、フジグラン三原ほか

芸術文化センター ポポロ(☎0848・81・0886)



リージョンプラザ

わんわんフェスティバル ~人と動物のふれあい~

14日(日) 10時~(雨天中止)

ところ 野外広場

参加費無料

内容 犬のファッションショー、犬の一発芸大会など

※当日は犬用シートを無料配布します。

わんわんフェスティバル実行委員会(☎0848・67・6888)



フリーマーケット

11月4日(日) 10時30分~15時30分

定数 100区画(定数になり次第受付終了)

参加費 1区画(1m×2m)につき1,000円

申し込み 20日(土)までにリージョンプラザへ

映画のつどい

25日(木) ①10時30分~②13時30分~③19時~



新しき土

ところ 文化ホール

入場料 1,000円(800円)

※()内は前売り料金。

販売場所 リージョンプラザ、ポポロ、うきしろロビー、フジグラン三原ほか

リージョンプラザ(〒723-0015円一町二丁目1番1号 ☎0848・64・7555 ☎0848・64・7569)

生活情報 掲示板

障害者虐待防止法を施行

今月から障害者虐待防止法が施行されます。家庭内での虐待、障害者福祉施設での虐待、職場での虐待の相談や通報の窓口は、社会福祉課です。虐待に気付いたら、すぐに連絡してください。

問い合わせ先 社会福祉課 ☎0848・67・6167 ㊟0848・64・2130

国民年金保険料の納め忘れはありませんか

今月から、過去10年以内の国民年金の未納保険料を納付できる後納制度が始まります。

期限 平成27年9月30日まで

※後納制度は、事前の申し込みが必要ですが、審査の結果、利用できない場合もあります。

問い合わせ先 国民年金保険料専用ダイヤル ☎0570・0

旅券(パスポート)の新たな早期発給制度が始まります

広島県では、市で行う通常の申請では海外渡航に間に合わない人を対象に、開庁日3日で旅券を交付できる新たな早期発給制度を開始します。

申請場所 県国際課旅券グループ(広島市中区)

※通常の申請とは、条件や手数料が異なります。詳しくは、県ホームページで確認してください。

問い合わせ先 県国際課旅券グループ ☎082・513・5603

私道の整備費用を補助します

対象 道路の舗装、または側溝を整備する工事

助成金額 工事費用の半額(上限200万円)

※助成条件があります。

問い合わせ先 土木管理課 ☎0848・67・6094

清掃工場の利用時には、身分証明書の提示を

11月1日(木)から、清掃工場利用者の市民確認を行います。

食育講演会

とき 13日(土)10時~12時

ところ リージョンプラザ

演題 ①心と体の栄養「食とスポーツ」②食の安全・安心

講師 ①公認スポーツ栄養士 ことばて るみさん

②県食品生活衛生課職員

定員 400人(先着順)

申し込み先 子育て支援課 ☎0848・67・6042



▲ことばて るみさん

だるま制作体験教室

①だるま制作体験教室

とき 6日(土)~27日(土)の土曜日(全4回)10時~12時

②だるま面相書教室

女性相談室を利用してください

相談員が、配偶者やパートナーからの暴力(DV)などの電話・面談による相談に応じます。

相談日 月~金曜日(祝日・年末年始を除く)9時30分~16時

ところ 女性相談室(サン・シープラザ3階)

内容 身体的暴力(殴る、蹴るなど)、精神的暴力(無視する、交友関係や電話を細かく監視するなど)、性的暴力(性的行為を強要するなど)、経済的暴力(生活費を渡さない、外で働くことを妨げるなど)

問い合わせ先 女性相談室 ☎0848・61・0122

免許証や社員証などの提示に協力をお願いします。

変更した用途地域の閲覧ができます

とき 月~金曜日(祝日・年末年始を除く)8時30分~17時15分

ところ 都市政策課(円一町庁舎3階)

対象 円一町、城町、頼兼、中之町、西野、本郷南の各一部

不適合既存建築物は届け出を今回の変更で、用途不適合になる建築物は、制限の緩和を受けることができます。

問い合わせ先 都市政策課 ☎0848・67・6113

産直市スタンプラリー

広島県・山口県内の産直市(道の駅など)にスタンプを設置しています。スタンプを3個以上集めると特産品が当たります。

とき 12月31日(月)まで

市内設置場所 やっさふれあい市場本郷店(下北方一丁目)、道の駅「よがんす白竜」

※詳しくは、設置場所または、広島広域都市圏協議会のホームページで確認してください。

受講料 1,000円

申し込み 10月12日(金)までに

講座名(複数可)を保健福祉課 ☎0848・67・6236へ

三原シティカレッジ

①園芸福祉入門講義 ②花を植えてみましよう(講義・実習)

とき ①14日(日)13時~14時30分

②21日(日)10時~

ところ 県立広島大学三原キャンパス

講師 県立広島大学教授 大塚彰さん

定員 各20人(申し込み先着順)

用意する物 軍手、移植ごて、空のペットボトル

申し込み Eメール、はがき、またはファクスで講座名、名前、職業、連絡先を県立広島大学(〒723-0053学園町1番1号 ☎0848・60・1120 ㊟0848・60・1134 ㊟mrenkei@pu-hiroshima.ac.jp)へ

要約筆記奉仕員の養成講座

とき 10月13日(土)~来年3月9日(土)の隔週土曜日(全10回)13時~16時

ところ サン・シープラザ(4階)

内容 聴覚障害者に文字で通訳するボランティアの養成

市民学芸員の活動報告



市では、市内に存在する地域文化財を有効に活用できる人材を、市民学芸員として養成しています。

今月から市民学芸員による活動成果を、「みはら玉手箱」と題して市ホームページで発表していきます。

市民学芸員体験グループ企画 お城の周りを探検しよう

とき 27日(土)10時30分~12時

内容 三原城周辺の散策・解説

対象 小学3~6年生(保護者の同伴可)

定員 50人(申し込み先着順)

参加費 小学3~6年生100円、保護者200円

申し込み 19日(金)までに生涯学習課 ☎0848・64・2137へ

全国一斉 赤い羽根共同募金が始まります

とき 1日(月)~来年3月31日(日)

方法 社会福祉協議会へ持参、街頭募金、職域募金など

問い合わせ先 県共同募金会三原市支会(社会福祉協議会内) ☎0848・63・0570

教室・講座

もっと知りたい天文学講座②

とき 20日(土)16時~17時30分

催し

定員 20人(申し込み先着順)

受講料 1,100円

申し込み 12日(金)までにボランティア・市民活動サポーターセンター ☎0848・67・9339へ

生徒・児童発明くふう展

とき 1日(月)~3日(水)10時~18時(1日は13時~)

ところ 市民ギャラリー(ペアシティ三原西館2階)

内容 小・中学生の作品展

問い合わせ先 商工振興課 ☎0848・67・6072

動物絵画「コンクール」作品展

とき 2日(火)~18日(木)9時~20時30分

ところ 市民ギャラリー(ペアシティ三原西館2階)

内容 小学3年生の作品展

問い合わせ先 生活環境課 ☎0848・67・6179

景観づくり大賞パネル展

とき 11日(木)~19日(金)9時~17時

ところ 道の駅「みはら神明の里」

内容 県内の景観写真の展示

秋の観望会

とき 20日(土)18時~22時

ところ 宇根山天文台

内容 木星や秋の星座の観察

入館料 大人310円、中学生210円、小学生100円

問い合わせ先 青少年女性課 ☎0848・64・9234

問い合わせ先 都市政策課 ☎0848・67・6113

よつみんさい市民ギャラリー(ペアシティ三原西館2階)

○創山人染三原グループ展 草木染めの展示

とき 5日(金)~9日(火)10時~18時

○三光クラブ写真展

とき 12日(金)~16日(火)9時~18時(16日は16時まで)

○直美の部屋「コンサート」ハモンドオルガンの演奏

とき 24日(水)14時~

○MOA美術館三原児童作品展

とき 19日(金)~21日(日)9時~18時(21日は15時まで)

問い合わせ先 観光文化課 ☎0848・67・6015

資産税の個別相談・照会

税務署では、資産税(譲渡所得、相続税、贈与税)に関する相談や照会を受け付けています。

とき 10月22日(月)、11月26日(月)、12月25日(火)

※時間はいずれも14時~16時。

申し込み 事前に三原税務署 ☎0848・62・3131へ

※電話申し込みは、音声ガイダンスで「2」を選択してください。

生涯学習講座

各講座は、申し込み先着順です。申し込み受け付けは、1日(月)10時からです。

講座名	とき	ところ	対象	定員	参加費	申込期限	申し込み先
陶芸体験教室(全2回)	13日(土)、11月10日(土) 9時30分～12時	北方コミュニティセンター	大人	20人	1,100円	5日(金)まで	北方コミュニティセンター (☎0848・86・6237)
薬草を使ったタコ料理で元気になるろう	13日(土) 10時～13時	須波コミュニティセンター		30人	500円	10日(水)まで	須波コミュニティセンター (☎0848・67・0512)
マイパソコンを活用しよう	16日(火) 13時30分～15時	久井南コミュニティセンター		15人	300円		久井南コミュニティセンター (☎0847・32・6316)
竹細工	17日(水) 10時～12時	くい文化センター		15人	600円		くい文化センター (☎0847・32・7138)
歌声の集い(なつかしのメロディー)	17日(水) 13時30分～15時30分	さざなみ学校(幸崎久和喜)	大人	30人	100円	15日(月)まで	中央公民館 (☎0848・64・2137)
そば打ち教室	18日(木) 10時～12時30分	沼田東コミュニティセンター		16人	1,100円	10日(水)まで	沼田東コミュニティセンター (☎0848・66・3179)
ねんど細工体験教室 壁飾りを作ろう(全2回)	18日(木)、11月1日(木) 13時30分～15時30分	船木コミュニティセンター		15人	1,000円	15日(月)まで	船木コミュニティセンター (☎0848・86・6731)
誰でも楽しめるスポーツ 吹き矢	18日(木) 13時30分～15時30分	久井公民館		20人	100円	5日(金)まで	久井公民館 (☎0847・32・7139)
元気になるアロマ教室	19日(金) 10時～11時30分	須波コミュニティセンター			1,000円	12日(金)まで	須波コミュニティセンター (☎0848・67・0512)
季節の家庭料理	22日(月) 10時～13時	中央公民館		24人	600円	15日(月)まで	中央公民館 (☎0848・64・2137)
聞き上手になるために	23日(火) 13時30分～15時	本郷公民館		40人	100円	22日(月)まで	本郷公民館 (☎0848・86・4811)
エコなクッキング(イタリア料理)	24日(水) 10時～13時	さざなみ学校(幸崎久和喜)		16人	400円	18日(木)まで	中央公民館 (☎0848・64・2137)
くらしの筆文字講座	31日(水) 10時～12時	本郷生涯学習センター	20人	300円	15日(月)まで	本郷生涯学習センター (☎0848・85・0701)	

図書館アラカルト

休館日 中央図書館=8日(月)
本郷・久井・大和図書館=火曜日、8日(月)

※生涯学習フェスティバルでも、催しを開催。(関連17ページ)

本郷図書館(☎0848・85・0703)

- 読書週間本展
とき 10月27日(土)～11月9日(金)
ところ 中央・本郷・久井・大和図書館
内容 読書週間にちなんだ図書の展示・貸し出し

- こんべいとろ おはなし会
とき 20日(土)14時～14時30分

ほんごう子ども図書館(☎0848・86・6066)

- おはなし会
とき 2日(火)10時30分～11時、13日(土)・27日(土)14時～15時
※13日は児童による手作り絵本のよみかたりです。

久井図書館(☎0847・32・7138)

- おはなし会
とき 27日(土)13時30分～14時

大和図書館(☎0847・33・1115)

- 絵本とおはなしの時間
とき 土曜日10時30分～11時



おすすめ本

『柔らかな犀の角 山崎 努の読書日記』
山崎 努/著
俳優 山崎 努による、小説・エッセイ・写真集・絵本など、さまざまなジャンルの読書日記。彼の博識でチャーミングな人柄が分かる文章だけでなく、紹介されている本も全て魅力的です。

中央図書館(☎0848・62・3225)

- ぼけっといっぱいのおはなし会
とき 4日(木)11時～11時30分
- ねむの木 おはなしのひろば
とき 6日(土)・20日(土)11時～12時
- 虹の会 絵本のよみかたり
とき 13日(土)15時～15時30分
- 虹の会 0歳からのよみかたり
とき 19日(金)10時30分～11時、11時15分～11時45分
- 歴史・文化講座
とき 20日(土)10時～11時30分
内容 中央図書館の資料を利用して古典を読む(『西鶴諸国はなし』～姿の飛のり物～)
講師 豊橋創造大学教授 島田大助さん
- 読書会
とき 22日(月)13時30分～15時
内容 『老いの楽しみ』沢村貞子/著
講師 吉川 五百枝さん

三原看護専門学校

とき 14日(日)10時～15時30分
ところ 三原看護専門学校(円一町四丁目)
内容 フリーマーケット、足裏マッサージ、喫茶など
※駐車場はありません。
問い合わせ先 三原看護専門学校(☎0848・67・0801)

募集

市営住宅の入居者

受付日時 1日(月)～12日(金)
(土・日曜日、祝日を除く)8時30分～17時15分
受付場所 建築課
募集住宅 本佐木住宅、久井・大和地区の住宅、小西北住宅(高齢者向き)
※今回の募集住宅以外の住宅は、来月募集します。
※申し込み多数の場合は抽選。
問い合わせ先 建築課(☎0848・67・6120)

県営住宅の入居者

受付日時 24日(水)～26日(金)8時30分～17時
受付場所 堀田・誠和共同企業体住宅管理センター(宮浦四丁目)

丁目 ※資料の配布は、16日(火)から行います。
※申し込み多数の場合は抽選。
問い合わせ先 堀田・誠和共同企業体住宅管理センター(☎0848・61・2215)

広島臨空広域都市圏交流バスツアー

とき ①11月21日(水)②22日(木)
集合場所 リージョンプラザ、世羅町役場
内容 酒蔵通り(東広島市)の散策、中原農園(大崎上島町)のみかん狩りなど
定員 ①27人②43人
※申し込み多数の場合は抽選。
参加費 大人2,000円、中学生以下1,500円
※中学生以下は、保護者同伴。
申し込み 11月2日(金)(必着)までに、往復はがきで参加者全員(一通3人まで)の住所、名前、年齢、電話番号、希望日を、世羅町企画課(〒722-1192 世羅町西上原123番地1 ☎0847・22・3206)へ

サンフレッチェ広島と一緒に応援しよう

とき 11月24日(土)14時30分～

ところ 広島ビッグアリーナ(広島市安佐南区)
※現地集合・解散です。
対戦相手 セレッソ大阪
参加費 大人1,500円、小学生、高校生600円
※中学生以下は、保護者同伴。
申し込み 10月26日(金)(消印有効)までに、往復はがきで参加者全員の住所、名前、年齢、電話番号を、広島広域都市圏協議会(〒730-8586 広島市役所分権 行政改革推進課内 ☎082・504・2017)へ

NHK にっぽん縦断こころ旅 心に残る風景とエピソード

ずっと残したい故郷の風景など、心に残る三原の風景をエピソードとともに紹介していただきます。俳優 火野正平さんが自車で県内8カ所を旅します。
申し込み 31日(水)(必着)までに、番組ホームページ、郵送、またはファクスで住所、名前、電話番号、性別、年齢、思い出の場所、エピソード、あれば写真を、NHK放送センター(〒150-8001 NHK放送センター「こころ旅」係 ☎0570・0666・0666 03・3465・1327)へ

児童館へおいでよ！

申し込み先 児童館(☎☎兼用0848・67・1123)

<h3>わいわいひろば</h3> <p>とき 5日(金)・9日(火)10時30分～11時30分 内容 堀川公園(本町二丁目)を散歩しよう 対象 乳幼児とその保護者 定員 各20組 参加費 100円</p>	<h3>茶の心～和親庵～</h3> <p>とき 13日(土)①10時15分～②11時15分～ ところ サン・シープラザ(4階) 内容 お茶のお点前 対象 幼児以上(幼児は保護者同伴) 定員 各10人 参加費 250円</p>	<h3>リトミックランド</h3> <p>とき 18日(木)・25日(木)①10時30分～11時②11時15分～11時45分 内容 リトミック(音楽表現) 対象 ①あんよができない子②18日=あんよができる1歳児、25日=2歳～未就園児 定員 各15組 参加費 無料</p>
<h3>離乳食講座</h3> <p>とき 12日(金)10時30分～12時 ところ 市民福祉会館 内容 離乳食の調理実習 対象 妊婦、0～9カ月児の保護者 定員 15人 参加費 300円</p>	<h3>親子ストレッチ</h3> <p>とき 17日(水)①10時～10時45分②11時～11時45分 対象 0歳～未就園児で、①あんよができない子②あんよができる子 定員 各30組 参加費 無料</p>	<h3>食育講演会</h3> <p>とき 30日(火)10時30分～12時 演題 食育の大切さ 対象 子育て中の保護者、食育に関心のある人 定員 30人 参加費 無料 ※希望者は直接児童館へ。</p>

※いずれも申し込み先着順です。申し込み受け付けは、2日(火)10時からです。※開館時間(10月～3月)は、10時～17時30分です。月曜日は休館日です。



高齢者のインフルエンザ 予防接種

接種時期 今月～12月に1回

対象 市内に住所があり、接種

する意思が確認でき、次のい

ずれかに該当する人

①接種日に65歳以上の人

②接種日に60～64歳で、心臓・

腎臓・呼吸器の機能または、

ヒト免疫不全ウイルスにより

免疫の機能に重い障害がある

人(身体障害者手帳1級に相

当)

自己負担金 1,500円

※対象のうち、生活保護世帯、

市民税非課税世帯、介護保険料

段階1～3の人は無料です。接

種時に、介護保険料納付通知書

の写しを持参してください。

※接種後に料金の払い戻しはで

きません。無料対象者で介護保

険料納付通知書がない人、市外

で接種する人は、接種前に手続
きをしてください。

※接種は義務ではありません。

問い合わせ先 保健福祉課 ☎

0848・67・6234

C型肝炎ウイルス感染被害者 への給付金請求期限の延長

C型肝炎ウイルス感染被害者

を救済するための給付金の請求

期限を5年間延長します。

請求期限 平成30年1月15日ま

で

※詳しくは、厚生労働省のホー

ムページに掲載しています。

問い合わせ先 厚生労働省相談

窓口 ☎0120・509・0

02)

献血に協力を

◆12日(金)10時～11時30分、12

時30分～16時 フジグラン三

原(一町一丁目)

◆25日(木)9時30分～11時30分

三原税務署(宮沖二丁目)

◆25日(木)13時～16時 小泉病

院(小泉町)

11月のなんでも相談

とき ①11日(木)②23日(火)

13時30分～15時30分

ところ ①久井保健福祉セン

ター②本郷保健福祉センター

定員 各2人(申し込み先着順)

申し込み ①9日(火)までに久

井保健福祉センター ☎084

7・32・8551 ②19日(金)

までに本郷保健福祉センター

☎0848・86・3609)へ

健康相談

とき 18日(木)13時15分～15時

15分

ところ サン・シープラザ(3階)

※本郷・久井・大和保健福祉セン

ターでは随時実施。(要予約)

内容 健診結果の相談、栄養相

談、血圧測定など

定員 6人(申し込み先着順)

相談料 無料

申し込み先 保健福祉課 ☎0

848・67・6053)

生活・介護支援サポーター 養成講座

とき 11月2日(金)・9日(金)・

16日(金)・30日(金)(全4回)

13時30分～16時30分

ところ サン・シープラザ

内容 高齢者や介護者の生活を

支援するサポーターの養成講座

対象 市内に住む人で、全日程

に参加できる人

定員 30人(申し込み先着順)

30人(申し込み先着順)

受けよう、がん検診

乳がん・子宮がん・大腸がん

とき ①11月29日(木)9時～10時 ②11月
29日(木)13時30分～14時30分 ③11月30
日(金)9時～10時

ところ ①②リージョンプラザ 南館 ③本郷
生涯学習センター

対象 乳がん・子宮がん=20歳以上の女性、
大腸がん=40歳以上の男女

定員 ①50人②20人③50人(いずれも申
し込み先着順)

※託児も可能です。(要予約)

検診料 乳がん・子宮がん=無料、大腸がん=
600円(クーポン券持参の人は無料)

申し込み 10月26日(金)(必着)までに、郵送、
ファクス、電子申請、または持参で申込書(保
健福祉課、市役所本庁、各支所に用意)を
保健福祉課 ☎0848・67・6053 ☎0848・
67・5934)へ

申し込み 26日(金)までに社会

福祉協議会 ☎0848・63・

0570)か、高齢者福祉課

☎0848・67・6055)へ

三原運動公園でのスポーツ教室

①少年サッカー教室

とき 20日(土)13時～15時30分

対象 小学3年生以下

定員 50人(申し込み先着順)

参加費 200円

用意する物 サッカーボール

②スナッグ・ゴルフ教室

とき 21日(日)13時30分～16時

定員 30人(申し込み先着順)

参加費 18歳以下100円、19

歳以上200円

※いずれも雨天の場合中止。

申し込み先 三原運動公園 ☎

0848・66・3900)

鉢ヶ峰・大平山に登りませんか

とき 28日(日)8時30分～16時30分

コース 糸崎駅～鉢ヶ峰～大平

山～道の駅「みはら神明の里」

対象 小学生以上(小・中学生は

保護者同伴)

定員 80人(申し込み先着順)

参加費 500円(小・中学生は

無料)

申し込み 22日(月)までに、住

所、名前、年齢、職業、電話番号

を三原山の会事務局 羽出さ

ん(〒723-0017 港町一丁目6番2

号 ☎兼用0848・62・82

79)へ



こんにちは 保健師です

インフルエンザを予防しましょう

そろそろインフルエンザの季節ですが、予防を心掛けていますか。インフルエンザにかかると、38度以上の高熱や悪寒など、さまざまな症状が現われ、体力のない子どもや高齢者にとっては命に関わることもあります。

予防には、次の5つのポイントが重要です。①十分な栄養と休息②定期的な換気と50～60%の湿度③こまめな手洗い・うがい④外出時のマスク着用⑤予防接種です。

⑤予防接種について、効果を発揮するまで約2週間かかります。流行期間は主に12月～3月なので、11月中旬までに接種するのが効果的です。また、原因となるウイルスは年や地域によって変わるので、毎年接種した方がよいでしょう。

インフルエンザの流行に備えて、一人ひとりができることをしていきましょう。

三原市保健師 高橋明里



祝日の小児科救急当番医院

とき 8日(月)8時30分～17時30分

ところ 三原市医師会休日夜間急患診療所(宮浦一丁目) ☎0848・67・7040

子育て支援サロン

とき 火・木曜日10時～12時、13時～16時

ところ サン・シープラザ(4階)

内容 ふれあい遊び、絵本や遊具遊び、子育て相談など

対象 乳幼児とその保護者

※希望者は直接会場へ。

問い合わせ先 保健福祉課 ☎0848・67・6061

子育て応援相談

とき 火・木曜日10時～12時、13時～15時

ところ サン・シープラザ(3階)

内容 乳幼児の発達や子育てに関する相談など

対象 乳幼児の保護者

※事前に予約が必要です。

申し込み先 保健福祉課 ☎0848・67・6359

子育て支援センターでの子育て相談

①5日(金)10時～11時 あさか

ぜ保育園(沼田東町片島)

②11日(木)10時～11時 さんさ

んまりん保育園(港町三丁目)

③11日(木)14時～15時 ぽ・ぽ・ら(宮浦六丁目)

内容 身体測定、育児栄養・歯科相談、遊びの広場

対象 乳幼児とその保護者

用意する物 母子健康手帳

問い合わせ先 保健福祉課 ☎0848・67・6061

キッズチャレンジ教室

お好み焼きを作ろう

とき ①20日(土)②21日(日)10時30分～12時30分

ところ ①久井保健福祉センター②サン・シープラザ(3階)

対象 3～6歳児とその保護者

定員 ①6組②10組(いずれも申し込み先着順)

参加費 無料

用意する物 箸、エプロン、三角巾、タオル、布巾、飲み物

申し込み 15日(月)までに保健福祉課 ☎0848・67・6053(へ)

パパと一緒に親子体操

とき 11月18日(日)13時30分～15時

ところ 中央公民館

内容 親子体操や工作

対象 2～3歳児とその父親

※家族での参加も可能です。

定員 100組(申し込み先着順)

申し込み Eメールで、①名前②住所③電話番号④一言パパ

自慢を子育て支援課 ☎0848・67・6045 kosodate@city.mihara.hiroshima.jp <



QRコード

こども発達支援センターが開設します

発達障害またはその疑いがある就学前の子どもを対象に、専門相談や診療を行う、こども発達支援センターが11月1日(木)に開設します。

ところ 福山市三吉町南二丁目

11番22号
○専門相談・診療
予約開始日 10月15日(月)

※こども発達支援センターでの相談・診療を利用するには、保健福祉課への事前相談が必要です。

問い合わせ先 保健福祉課 ☎0848・67・6359

ベビーマッサージ講座

とき ①9日(火)②10日(水)10時30分～11時30分

ところ 中央公民館

対象 ①0～5カ月児②6～11カ月児とその保護者

定員 各10組(申し込み先着順)

参加費 300円

申し込み 8日(月)までに生涯学習課 ☎0848・64・2137(へ)

離乳食教室

とき 31日(水)13時30分～15時

ところ サン・シープラザ(3階)

内容 離乳食のすすめ方、調理実習、試食など

対象 0～6カ月児の保護者

定員 30人(申し込み先着順)

※託児も可能です。(要予約)
申し込み 24日(水)までに保健福祉課 ☎0848・67・6061(へ)

人権ひろば



心のつながりすてきな笑顔 ⑩ 認知症について正しい理解を

日本は超高齢社会を迎え、高齢者が高齢者を介護する老老介護や、子どもが一人で親を介護するケースも増えています。

認知症は脳の病気で、65歳以上の9人に1人は認知症の症状があるといわれ、誰もがなる可能性のある病気です。症状に最初に気付くのは本人で、もの忘れによる失敗や、今まで簡単にできていたことがうまくいかなくなるのが徐々に増え、なんとなくおかしいと感じ始めます。自分は認知症かもしれないという不安な気持ちから、「私には忘れていない」、「病院に行く必要はない」

とかたくなな態度をとってしまうことがあります。

そのため、認知症になると、何も理解できないだろうとプライバシーを侵害されるなど、誤解や偏見を受けやすくなります。誰もがなりうる認知症。周りの人が正しい知識を持ち、助け合うことができれば、認知症の人もその家族も住み慣れた地域で暮らすことができます。互いに理解し合おう。

(人権啓発広報編集委員会)

高齢者相談センターでは、認知症など高齢者に関する総合的な支援を行なっています。

- 高齢者相談センター
どりいむ(中中之町六丁目)
☎0848・61・4410
- 高齢者相談センター
三恵苑(城町三丁目)
☎0848・63・6775
- 高齢者相談センター
三原市医師会(宮浦一丁目)
☎0848・63・7100
- 高齢者相談センター
大空(下北方一丁目)
☎0848・86・2450
- 高齢者相談センター
はーもにー(久井町和草)
☎0847・32・5007
- 高齢者相談窓口
すなみ荘(須波ハイツ四丁目)
☎0848・69・3269
- 高齢者相談窓口
三原慶雲寮(小坂町)
☎0848・66・2100
- 高齢者相談窓口
だいわ(大和町和木)
☎0847・34・1214
- 高齢者福祉課(市役所本庁1階)
☎0848・67・6055

人権標語

(高校2年生の作品)

人権は 人からではなく 自分から

消費生活相談

81

通信販売で買った商品が、返品できない

《相談内容》

インターネットの通信販売で、自動車のハンドルを購入した。実際届いてみると、写真で見た色と実際の色が思っていた色と違っていたので業者に返品依頼をしたが、受け付けてもらえなかった。クーリング・オフできるのではないか。

《アドバイス》

相談者には、通信販売はクーリング・オフの対象外であることを説明しました。明らかに違う色が届いたのなら返品が可能かもしれないですが、イメージと違うという理由では難しいことを伝えました。

クーリング・オフ制度は、訪問販売など不意打ち性のある特定の販売方法で商品を購入した場合にしか適用されません。今回のようにインターネットやカタログで商品を確認した上で契約できる通信販売は対象外です。

ただし、通信販売業者が返品特約を定めている場合はその特

約によります。

通信販売は、在宅でさまざまな商品を購入できて便利ですが、購入前に実物を見たり手に取ったりできないため、トラブルになることがあります。面倒でも、契約の内容や返品の手続きについてよく確認してから申し込むようにしましょう。



消費生活センター

☎0848・67・6410

専門の相談員が、消費生活の困り事の解決策と一緒に考えます。

とき 8日を除く月～金曜日

9時～12時、13時～16時

ところ 市役所本庁5階

※電話相談も可能です。

【巡回相談予約制】

とき 12日(金)・19日(金)・26日(金) 14時～16時

ところ 本郷・久井・大和支所

申し込み 相談日の前日まで

に、消費生活センターまたは

商工振興課(☎0848・67・

6072)へ

くらしの無料相談窓口

相談日などは、変更する場合があります。事前に確認してください。

相談の種類	と き	と ころ	申し込み・問い合わせ先
三原市法律相談	19日(金)※要予約。受け付けは5日(金)8時30分から。	13時～16時	中央公民館 生活環境課 (☎0848・67・6178)
弁護士法律相談	10日(水)・24日(水) ※いずれも要予約。収入による利用条件があります。	10時～16時	広島地方裁判所尾道支部内(尾道市新浜一丁目) 広島弁護士会尾道地区会 (☎0848・22・4237)
司法書士法律相談		12時～15時	電話相談 広島相談センター(☎082・511・7196)
法的トラブルの解決法・窓口の案内	8日を除く月～金曜日	9時～17時	電話相談 法テラス広島(☎050・3383・5485)
消費生活相談	8日を除く月～金曜日	9時～12時、13時～16時	市役所本庁(5階) ※電話相談も可。 消費生活センター (☎0848・67・6410)
消費生活巡回相談	12日(金)・19日(金)・26日(金) ※要予約。	14時～16時	本郷支所・久井支所・大和支所
若年者向け就職相談	8日を除く月曜日※要予約。	12時～17時	サン・シープラザ(3階) 青少年女性課 (☎0848・64・9234)
	火～木曜日※要予約。	10時～15時	若者サポートステーション(港町一丁目) 商工振興課 (☎0848・67・6072)
学校生活・勉強などの悩み相談	8日を除く月～土曜日	9時～17時45分(土曜日は8時30分～17時15分)	リージョンプラザ ※電話相談も可。 三原ふれあい相談室 (☎0848・64・7201)
学校生活の悩み・体罰などの相談	8日を除く月～金曜日	8時30分～17時15分	電話相談 三原子どもサポートダイヤル(☎0848・67・6173) ※時間外は、留守番電話で対応。
児童虐待通告窓口	毎日	24時間	電話相談 子育て支援課(☎0848・67・6088)
家庭児童相談	8日を除く月～金曜日 ※24日(水)は要予約。	9時30分～16時	サン・シープラザ(3階) 家庭児童相談室 (☎0848・61・0121)
女性相談	8日を除く月～金曜日		女性相談室 (☎0848・61・0122)
認知症相談	火・木曜日	13時～16時30分	電話相談 県地域包括ケア推進センター (☎082・254・3434)
成年後見専門相談	11日(木)※要予約。	14時～16時	サン・シープラザ(3階)
障害者なんでも相談	3日(水)	10時～12時	久井保健福祉センター 障害者生活支援センター (☎0848・63・3319 ☎0848・63・3359)
	12日(金)		大和保健福祉センター
	17日(水)	14時～16時	本郷福祉センター
心配ごと相談	30日を除く火・金曜日	13時～16時	サン・シープラザ(3階) 社会福祉協議会・各地域センター (☎0848・63・0570)
	31日を除く水曜日		本郷福祉センター (☎0848・86・3607)
	3日(水)・17日(水)	9時～12時	久井保健福祉センター (☎0847・32・7101)
	5日(金)・19日(金)		大和人権文化センター (☎0847・33・1308)
	12日(金)・26日(金)		大和保健福祉センター (☎0847・34・1214)
人権相談	火・水・金曜日、4日(木)	10時～16時(4日は13時30分～16時30分)	サン・シープラザ(3・4階) 人権推進課 (☎0848・67・6044)
	8日を除く月・木曜日	10時～16時	市役所本庁(4階)
	8日を除く月～金曜日		電話相談 法務局常設電話相談所(☎0570・003・110)
女性の人権相談	8日を除く月～金曜日	8時30分～17時15分	電話相談 女性の人権ホットライン(☎0570・070・810)
子どもの人権相談			電話相談 子どもの人権110番(☎0120・007・110)
交通事故・民事・家事相談	8日を除く月～金曜日	9時～12時、13時～16時	電話相談 県生活センター(☎082・223・8811)
暴力団関係相談		8時30分～17時	電話相談 暴力追放広島県民会議(☎082・228・5050)
登記相談	17日(水)	13時～16時	市役所本庁(1階) 広島法務局尾道支局 (☎0848・23・2882)
不動産相談	11日(木)・25日(木)	10時～15時	サン・シープラザ(3階) 社会福祉協議会 (☎0848・63・0570)
療育・教育相談	1日(月)・22日(月)	13時～16時	
行政相談	19日(金)		
水防・災害対策本部専用電話			(☎0848・67・6868 ☎0848・67・6164)



Photo Walk
カメラ散歩

- ① 猛暑の中、スイム1.5km、バイク42km、ラン10kmで熱戦を展開。参加した527人に、沿道から声援が送られました(8/19 トライアスロンさざしま大会)
- ② みんなで長寿を祝福!今年度、市内で100歳を迎える人は45人で、100歳以上の人は合計101人になります(9/17 新100歳への市長訪問 亀甲園)
- ③ 三原小学校の子どもたちが、たこ産卵礁の設置を体験。たこに触れ、持ち上げるたび

- に歓声が上がりました(8/28 三原のたこ博士になるう! 幸崎沖ほか)
- ④ 子どもたちは、飛行機やヘリコプターなどを間近に見ながら、空港職員の説明に熱心に耳を傾けていました(8/28 三原ふるさと子ども博士講座 広島空港ほか)
- ⑤ 全国から参加した587人が、ショート・ロングの二つのコースに分かれ、山道や森林を駆け抜けました(9/16 トレイルランレース 白竜湖スポーツ村公園ほか)

📍 秋の訪れ
📷 門功さん
📍 明神町
📅 平成24年8月



📍 青空とコラボレーション
📷 山本清博さん
📍 西野五丁目
📅 平成24年8月



📍 小佐木島灯台
📷 土居康人さん
📍 小佐木島沖
📅 平成24年8月



📍 棲真寺(美観の里)
📷 藤澤賛夫さん
📍 棲真寺(大和町平坂)
📅 平成24年8月



投稿写真を募集

テーマ ～みはらの四季、みはら再発見、みはらの新たな観光スポット～

応募期限 10日(水)(必着)
 応募資格 市内に在住か通勤・通学の人
 選考 総務課で選考
 ※投稿写真の著作権は市に帰属します。
 ※広報誌への掲載は、年度につき原則一人2回までです。
 ※投稿写真の返却は行いません。

※広報誌で紹介できなかった写真は、市ホームページへ掲載します。
 申し込み 郵送またはEメールで、写真データか写真(L判サイズ)と、①撮影者名②住所・電話番号③撮影日④撮影場所⑤作品名を総務課(〒723-8601港町三丁目5番1号 ☎0848・67・6007 📧soumu@city.mihara.hiroshima.jp)へ



▲社会科見学で訪れた三原小の児童たち

1m、重さ10kgのコナラ。毎春、夫婦2人で4,600本の原木にシイタケの種菌を打ち込む作業は一苦勞です。早い日には朝4時から収穫を始め、主にスパーや道の駅などの産直市へ出荷します。お客さんからの「久保田さんのシイタケをよく買っている」という声が、励みになっています。

久保田さんは、三原小学校の児童の社会科見学も受け入れています。子どもたちは、「シイタケがどのように栽培されているか初めて知った」、「シイタケを買って食べるようになった」などと感想を残し、シイタケへの関心を深めています。原木シイタケは手間がかかるため生産者が少なくなりました。弾力があり、日持ちもするシイタケに誇りを持って栽培しています。今後もシイタケを通して、地産地消と、地域との交流を続けていきます。

問い合わせ先 農林水産課(☎0848-676077)

みんなでチャレンジ

食育¹⁹



食育推進キャラクター「そだっち」

こだわりのシイタケを通して地域とつながっています

シイタケがどのように栽培されているか知っていますか。シイタケには原木を土台に栽培する原木シイタケと、おがくずの塊を土台に栽培する菌床シイタケがあります。

久保田さん夫婦は、46年前から原木シイタケを栽培しています。裏山には、原木が整然と並び、ずっしりとかさを開かせたシイタケが、かぐわしい香りを漂わせます。原木となるのは、長さ



▲久保田 貴和さん(右)と美保子さん(本郷町)

シイタケの肉詰めフライ



●材料(1人分)

シイタケ2枚、合いびきミンチ50g、タマネギ25g、塩・コショウ少々、小麦粉適量、卵1/4個、パン粉適量、サラダ油適量

●作り方

- ①シイタケを洗い、石づきをとる。
- ②みじん切りにしたタマネギを、電子レンジにかけ、冷ます。
- ③合いびきミンチに②を入れ、塩・コショウを振り、よくこねる。
- ④小麦粉をシイタケのかさの裏につけ、③を詰める。
- ⑤④で詰めた部分に小麦粉、溶き卵、パン粉をつける。
- ⑥160℃のサラダ油で、⑤の部分から揚げ、ひっくり返してさらに揚げる。

毎月19日は食育の日

普段の食生活を振り返ってみましょう。
 朝ごはんを食べていますか。
 家族と一緒に食べていますか。
 地元産の旬の食材を食べていますか。

三原市の人口(8月31日現在)

世帯数	43,749	世帯(-117)
人口	100,564	人(-1,088)
男	48,026	人(-607)
女	52,538	人(-481)

※外国人住民を含む。
※()内は前年同月との比較。

税などの納期(普通徴収)

○市県民税(第3期)
○国民健康保険税(第4期)
○介護保険料(第4期)
○後期高齢者医療保険料(第4期)
納期限 10月31日(水)
夜間収納窓口(19時まで)
4日(木)・11日(木)・18日(木)・25日(木)

航空機の騒音測定結果(8月分) (WECPNL)

▶正広局(本郷町善入寺正広)=61.0 ▶本郷局(本郷町船木川西上)=63.5

あ・と・が・き
自然と穏やかな付き合ひ方をしてきた三原・世羅の人々。ヒョウモンモドキの生息がそれを証明しています▼かつては、人間の働きかけにより環境が維持されてきた里山も荒廃が進みつつあります。ヒョウモンモドキを保護することは、こうした里山を保全することにもつながっています▼国内最後の生息地となった今、ヒョウモンモドキを保護し、次世代へとつないでいくことができるのは、私たちだけになってしまいました。保護活動を行う多くの皆さんの思いをのせて、いつまでも舞い続けてほしいですね。(S)